

～栄養士インタビュー（利島編）～

利島村立利島小中学校 栄養士

1 島に赴任しようと思ったきっかけを教えてください。

全く知らない土地で、新たな経験ができると思ったことがきっかけです。島勤務は他の自治体では経験できないことなので、東京都で採用されたからにはいつか行きたいと思っていました。新規採用で赴任することになったのは想定外でしたが、仕事面でも生活面でも充実しており、今となっては良かったと思っています。

2 児童（生徒）の人数が少ないことについて、どう感じていますか？

食数が少ない分、新たなメニューに挑戦しやすいというメリットがあります。また、1人ひとりの好みを把握できるため、好みに応じた献立作成ができたり、その子に合った給食時間の声掛けや食育をしたりできます。

3 島の学校と内地の学校で違いがあると感じることは何ですか？

船の欠航により食材が届かないなどの内地ではないようなトラブルが生じることがあります。そのような際は、食材や献立の変更をして対応します。しかし、そんなことには慣れている調理員さんや島内の業者さんがいるので問題ありません。

4 仕事や日常生活において、赴任前のイメージと違ったことを教えてください。

島内唯一の栄養士のため、研修等で学べる機会があるのか心配でした。実際は、内地へ行く研修を受講させてもらえますし、他の島の栄養士との交流もあります。最近は、対面とオンラインのハイブリット方式で開催される研修が多いため、島にいても学ぶ機会はたくさんあります。

5 日常生活での買い物はどうしていますか。

食料品は島内にある農協で購入しています。日用品はネットショッピングを利用しています。船が欠航すると遅れますが、基本的に荷物は3日程で届きます。また、内地に行った時に買い物をして持ち帰ることもあります。天気がいい週末はお隣の新島に行っ

て、利島では買えないパン屋さんのパンや生肉、フルーツなどを買って持ち帰ることもあります。

6 島での生活や仕事の一番の魅力を教えてください。

時間があることです。通勤時間が徒歩6分！休日も決まった予定は少ないため、パン作りやお菓子作りをすることができます。島一周歩いて2時間半のため、集落内は基本的に歩くことができます。満員電車で揺られることもなく、自分の時間を楽しむことができます。

7 島への赴任を検討している方に一言お願いします。

全児童生徒の顔と名前を覚えられるくらいの規模で距離が近い分、給食について子供たちから率直な意見を聞くことができます。船の欠航が続き、食料が手に入らないことを知っている子供たちだからこそ、給食に対して感謝の気持ちをもっているように感じます。そんな環境なので、栄養士としてのやりがいを感じながら働くことができると思います。不安は大きいと思いますが、来てみたら大抵のことはどうにかかります！